

平成13年4月17日

各位

株式会社大京
取締役広報室長 大越 武

大京、豪州ケアンズ市内に 「バックパッカーズ・ホテル」を建設

バックパッカー：各地を旅して回る比較的若い年齢層の旅行者
を主な対象とする簡易宿泊施設——

株式会社大京（所在地：東京都渋谷区、社長：長谷川正治）は、大京グループの大京ノースクイーンズランド株式会社（所在地：オーストラリア・ケアンズ市）が事業主体となり、豪州ケアンズ市内ディガー・ストリートに保有する約1万1,000㎡の開発用地を利用して、「バックパッカーズ・ホテル」の建設に着手することとなりましたので、お知らせいたします。

今回建設するバックパッカーズ・ホテルの名称は、「ディガーホテル（仮称）」で、施設の概要は、鉄筋コンクリート造り、地上3階建て、延べ床面積2,600㎡、客室数75室で最大収容人員200名です。付帯施設として、レストラン、バー、プール、遊戯室のほかインターネット室やスパまで備えたもので、総工費は約400万豪ドル（約2億4,000万円）、法定の諸手続き等を経て、平成13年6月に着工（予定）、同年12月に竣工（予定）し、ケアンズで最も魅力あるバックパッカーズ・ホテルが誕生いたします。

ケアンズを訪れるバックパッカー人口は、この5年間で60%も増えており、平成12年（暦年）の1年間には約25万人を記録しています。一方、その受け皿のホテルといえば、そのほとんどが零細経営で、施設も事務所、アパートおよびモーテルから転用したものが多くという現状を踏まえて、本格的な当社のバックパッカーズ・ホテルの建設は、安定的で高い投資効率が見込まれるものと、期待しております。

なお、大京は、バックパッカーズ・ホステル「ディガーホステル」の運営により、初年度売上高150万豪州ドル(約9,000万円)を見込んでおり、運営開始後の状況を見て、さらに、同敷地内に別棟の建て増しも検討していく予定。

大京は、1980年代後半から豪州への投資を拡大、ケアンズ、ゴールドコーストの両地区にホテル5カ所、ゴルフ場1カ所、賃貸ビル3棟を保有、経営するほか、住宅用地等の開発用地を保有しておりますが、このたび「開発用地の活性化計画」を策定、すでにスタートしたゴールドコーストの住宅開発を皮切りに順次実施に向けて進めております。

大京は、これら一連の計画の一環として、ケアンズでバックパッカーズ・ホステルの建設に着手するが、これは昨年7月に日本人旅行者を含む多数の死傷者を出した、豪州クイーンズランド州・チルダーズという町で起きたバックパッカーズ・ホステルの火災を機に、それまであまり注目されなかったこの種の宿泊施設の安全性が、大きな問題となったことも一つの要因である。

これまで、経済的理由などから宿泊費の安いホステルに滞在していたバックパッカーたちも、最近では少々高くても衛生的で安全な、そして何よりもインターネット設備の備わった本格的なホステルへの滞在を好む傾向が見られるようになってきた。

◆バックパッカーズ・ホステルとは

バックパッカーズ・ホステルとは、大きなリュック(バックパック)を背負って世界各地を旅して回る比較的若い年齢層の旅行者(バックパッカー)を主な対象とする簡易宿泊施設です。

◆バックパッカーズ・ホステル「ディガーホステル」の施設概要

- ・名称：ディガーストリート
- ・所在地：豪州ケアンズ市
- ・敷地面積：11,332㎡
- ・延べ床面積：2,600㎡
- ・構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上3階建て
- ・室数：75室
- ・収容人員：最大200名
- ・付帯施設：レストラン、バー、プール、遊戯室、インターネット室、スパ
- ・着工日：平成13年6月(予定)
- ・竣工日：平成13年12月(予定)
- ・営業開始日：平成13年12月(予定)
- ・総事業費：400万豪ドル(約2億4,000万円)
- ・事業主：大京ノースクイーンズランド株式会社

◆バックパッカーズ・ホテル「ディガーホテル」の完成予想パース



(参考) 大京の豪州における事業実績

<ホテル事業>

ホテル名	所在地	客室数
ゴールドコースト国際ホテル	ゴールドコースト	296室
ケアンズ国際ホテル	ケアンズ	321室
マトソプラサホテル	ケアンズ	342室
ケアンズヒルトンホテル	ケアンズ	264室
グリーンアイトリゾート	ケアンズ	46室
豪州5ホテル合計		1,269室

<ゴルフ場事業>

ゴルフ場名	所在地	ホール数
パラダイスパームズゴルフコース	ケアンズ	18ホール

<その他>

- ・賃貸ビル 3棟
- ・住宅用地の開発・分譲 など

以上

この件に関する問い合わせ先は
株式会社大京 広報室 (伊奈) 03-3475-3802